

# 島民体育大会

9月5日、第50回対馬島民体育大会（球技・武道）が、対馬市体育協会の主催で開催されました。

上対馬町と上県町を会場に、13種目、22競技が行われ、各町代表が熱戦を繰り広げました。

優勝したチーム、選手は、11月13、14日に、長崎市を主会場に行われる県民体育大会に、対馬市代表として出場します。

## 【試合結果】

優勝のみ



軟式野球（上対馬町総合運動公園野球場）〓 豊玉町 バレーボール（佐須奈小中体育館）〓 《男子》美津島町《女子》豊玉町 バスケットボー



ル（上県体育館）〓 《男子》美津島町《女子》厳原町 テニス（上対馬町総合運動公園テニスコート）〓 《男子》厳原町《女子》厳原町 ソフトテニス（上県町運動公園テニスコート）〓 《団体》峰町《個人》「一般男子」内山吉寿（厳）・江口正和（厳）組「一般女子」永留恵美（峰）・扇清子（峰）組「成年男子」梅野敏弘（美）・森潤一（豊）組

「成年女子」小田幸子（美）・上野佳乃（美）組「壮年男子」大久保豊（豊）・永留安生（峰）組「壮年女子」平江千賀子（美）・瀬川寿子（美）組「壮年二部」平江貞徳（豊）・森谷等（豊）組 ソフトボール（上対馬高グラウンド・上対馬町総合運動公園多目的広場）〓 《一般FP》上対馬町《壮年SP》上対馬町《実年SP》上対馬町 バドミントン（比田勝中体育館）〓 《男子》上県町《女子》厳原町卓球（上対馬町総合運動公園体育館）〓 《団体》厳原町《個人》「一般男子」森昭三（厳）「一般女子」岩永真己（厳）「壮年男子」堀一隆（美）「ベテラン男子」村井満良（豊）「ベテラン女子」小島桂子（厳） ゲートボール（上県町ゲートボール場）



〓 豊玉町 剣道（比田勝小体育館）〓 《団体》厳原町《個人》「24歳以下」田中省吾（厳）「34歳以下」渡辺裕信（厳）「44歳以下」阿比留利彦（美）「54歳以下」木寺肇（厳） 柔道（比田勝中格技場・個人戦のみ）〓 北川昭彦（豊） 弓道（上対馬町総合運動公園弓道場）〓 《団体》美津島町《個人》「男子の部」阿比留紀夫（峰）「34歳以下」小島洋子（対）



## 少年ソフトボール大会

9月5日、陸上自衛隊駐屯地曹友会主催の第14回駐屯地司令杯ソフトボール大会が、厳原総合公園野球場で市内か

ら7チームが参加して行われました。

試合はAパート、Bパートの二つに分かれて行われ、鶏鳴ボーイズAチーム（鶏鳴小）が優勝しました。2位は厳原少年ソフトボールクラブAチーム（厳原小）、3位は船小ファイターズ（大船越小）でした。また、個人賞として、最優秀選手賞に上野翔太君（鶏鳴ボーイズA）、優秀選手賞に小宮一斗君（厳原少年ソフトボールクラブA）、敢闘賞に犬束弘法君（船小ファイターズ）が選ばれました。



## ゲートボール大会

9月2日、対馬市内の愛好者が参加して、吉岐・対馬特定郵便局長杯ゲートボール大会が行われました。

この日は天候にも恵まれ、会場の豊玉町ゲートボール場には、市内から48チームが参加し競技しました。

ゲートボールはチームワークや監督の采配が勝敗を大きく左右するスポーツの一つで、一打ごとに試合展開が大きく変化します。この日も白熱したゲームが続きました。試合の結果は次のとおりです。

優勝 伊奈チーム(上県町)  
2位 連友会チーム(上県町)  
3位 黒瀬チーム(美津島町)



## 滑走路でマラソン大会 空港まつり

9月11日、対馬空港で、普段は入れない滑走路が開放され、「第13回空港まつり」が開催されました。

これは、20日の「空の日」を前に行われたもので、今年恒例の滑走路マラソンやヘリコプター体験搭乗に加え、対馬市誕生を記念したセスナ機での遊覧飛行など多彩なイベントが行なわれたほか、出店やフリーマーケットも立ち並び、終日賑わいました。

メインイベントの滑走路マラソンには、市内の小中学生340人が参加して、2kmの特設コースを元気づけっぴり走りました。

【マラソンの結果】1位のみ

《男子》小学生低学年「小島正直(鶏鳴小3年) 小学生高学年「齊藤準基(豊玉小6年) 中学生「本堀亮太(豊玉中2年)

《女子》小学生低学年「松島奈央(厳原小3年) 小学生高学年「俵菜奈美(鶏鳴小6年) 中学生「平山里子(豊玉中1年)



## ナイターでグラウンド ゴルフ大会

9月15日、「笑顔の場面つくりませんか」をキャッチフレーズに、豊玉総合運動公園野球場で豊玉町グラウンドゴルフ大会が行われ、町内から16チームが参加しました。

グラウンドゴルフは、誰でも気軽に楽しめる、ルールも簡単なことから、対馬での競技人口も増加してきました。

この大会はナイターで行われ、昼間の仕事を終えた愛好者の皆さんが、友達、地域、職場の仲間とチームを組んでゲームを楽しみました。



## 地区でゲートボール大会

9月20日、豊玉町網島地区のゲートボール大会が小網小学校グラウンドで行われ、子どもからお年寄りまで多くの人が参加しました。

この大会は、網島地区(田、銘、小網、大網、志多浦)の皆さんが、地域住民の親睦と明るく豊かな地域づくりのため毎年行っているものです。

各チームは、老人、婦人、子どもとの混合で構成され、チームワークが必要となります。普段はゲートボールをしたことのない子供たちも、チームの老人の方から優しくアドバイスを受け、楽しく競技していました。





# グラウンドゴルフ大会

9月19日、美津島町あそびパークで、対馬市グラウンド・ゴルフ協会（植村忠光会長・会員222名）主催の対馬市誕生記念「第1回市民いきいき健康づくりグラウンドゴルフ大会」が開催されました。また、この大会は、市長杯大会も兼ねており、開会式でカッパが木谷助役から植村会長に手渡されました。

大会は、市内から40チーム、約200人が参加して行われ、前日の雨で、グラウンドの状態はあまり良くありませんでしたが、ホールインワンが32回も出るなど好プレーが続出しました。

【チームの部】1位「さわやかAチーム（上対馬）」、2位「榎Dチーム（峰）」、3位「パワーズ55チーム（厳原）」

【個人の部】《男子》1位「園田稲雄（さわやかA・上対馬）」、2位「江上新一（榎B・峰）」、3位「江上庫夫（榎D・峰）」《女子》1位「豊島美代子（フレンドB・美津島）」、2位「原登志子（さわやかA・上対馬）」、3位「築城小夜子（榎A・峰）」



## 運動会に雨も一休み

連日の雨も上がって、晴れ間も見えた9月19日、開催が心配されていた南小学校と加志々中学校の合同運動会が、加志々中学校グラウンドで行われました。

同校では、校区内の児童・生徒の減少で、毎年、豊玉南保育所の園児も参加して、合

同で行われています。

家族、地域の皆さんの温かい声援と盛大な拍手の中、児童、生徒、そして園児が協力して、すばらしい運動会になりました。

また、同日、豊玉中学校グラウンドでも、同校運動会が行われ、大漁旗で作ったハッピを着て演じられた「ソーラン節」は、曇り空を吹き飛ばすほど元気いっぱいしの演技で、会場は大きな歓声と拍手に包まれました。



南小(エイサー『遊び庭』)



豊玉中『ソーラン節』

## 厳中運動会

雨で順延になっていた厳原中学校（早田和文校長）運動会が、9月22日同校グラウンドで開催されました。

全校生徒262人が赤、青、黄の3組に分かれて25種目の競技を行いました。

午前の部の最後の種目「2004、厳中ソーラン節」では、全校生徒が夏休みから練習してきた見事な演技で大きな拍手を受けていました。



## 保育所合同運動会に大歓声

9月23日、上対馬総合運動公園で泉保育所（園児23名）と比田勝保育所（園児57名）の合同運動会が開催され賑わいました。これは対馬市誕生を記念して12年ぶりに開催されたものです。

秋空のもと、元気いっぱいの園児たちが踊ったり走ったりと大活躍。「転んでも泣きません」との園児代表挨拶どおり、一生懸命がんばる子どもたちの姿に応援にかけつけた家族から大歓声があがっていました。



## 日銀支店長講演会 弱点を利点に



講演する深野支店長

9月1日、対馬市商工会長町忠一（会長）主催で、深野浩平（ふかのこうへい）日本銀行長崎支店長の講演会が、市内のホテルで開催されました。

「わが国と長崎の景気動向」と題して行われた講演会には、商工業者など約50名が参加。深野支店長はパソコンを使って、全国の経済動向、次に長崎、最後に対馬について説明しました。

対馬の経済的な自立については、「離島は不便」を「離島は希少」と考える逆転の発

想で、その弱点を逆に利点にしてのブランド化の推進や、インターネットの活用で離島という距離のハンデの克服などが提案されました。また、地理的、歴史的に関係の深い韓国とは、観光業などでさらに結びつきを強くする必要があると講演しました。

## 観光ボランティア 創設講座

9月8日、対馬市商工会蔵原支所会議室で、対馬での観光ボランティア組織の設立を目指して、「長崎観光大学観光ボランティア創設講座」が開催されました。

県と県観光連盟、対馬観光物産協会が開いたもので、長崎国際大学・人間社会学部の青山有三教授が「美しき対馬を観（しめ）す」と題して講座を行いました。

青山教授は、「最近の観光客は、個々人の好みで旅行する傾向にあり、地域の人々のふれあいを求めてきている。そのため、自分たちの地域の観光地をいろいろな角度から見直して、訪れた人に満足し

てもらうことが必要。」と説明しました。



講師の青山有三教授

## 若い経営者の 主張大会

9月9日、市内のホテルで、「若い経営者の主張大会」長崎県大会（長崎県商工会連合会・長崎県商工会青年部連合会主催）が行われました。

この大会は、地域づくりの担い手である青年部の資質の向上を目的に、毎年県内各地で行われ、今回、対馬市誕生を記念して開催されました。

西彼、東彼、北高、南高、北松、南松、壱岐、対馬の8ブロックの代表が、11月に長崎市で行われる九州大会を目指して発表を行いました。

1位になったのは、西彼高

島町の富川龍平さん。炭鉱の閉山で、人口が激減した高島町を活性化させるため取り組み「高島新聞」の発行について発表しました。新聞は、現在3000部を高島出身者に無料で送っているそうで、目標は20000部と話していました。

また、対馬ブロック代表の島崎顕章さんは3位に入賞しました。



1位の富川さん

## 公民館大会

対馬市教育委員会主催の第1回対馬市公民館大会が、9月12日に上対馬総合センターで、対馬市各地区から420名が参加して開催されました。大会は、開会行事の後、事

例等発表が行われ、各地区6名が公民館活動の事例やこれからの公民館活動のあり方を発表しました。昼食後、テレビでも活躍している丸山和也弁護士（丸山和也）の記念講演があり、お馴染みの語り口に、参加者は熱心に聞き入っていました。



弁護士の丸山和也さん